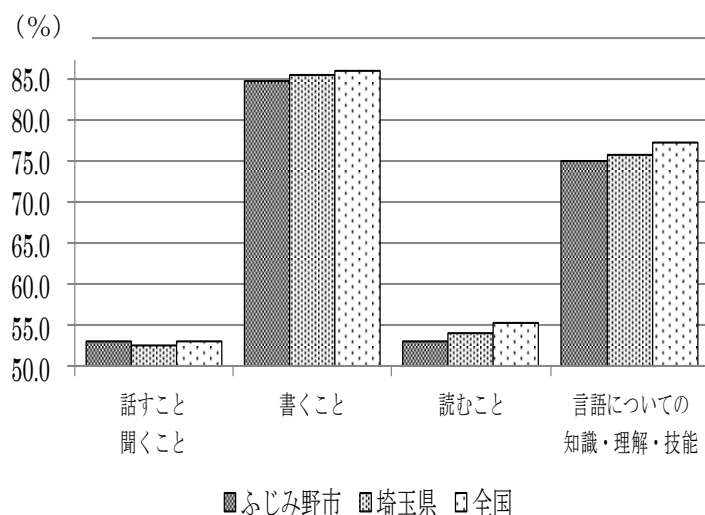


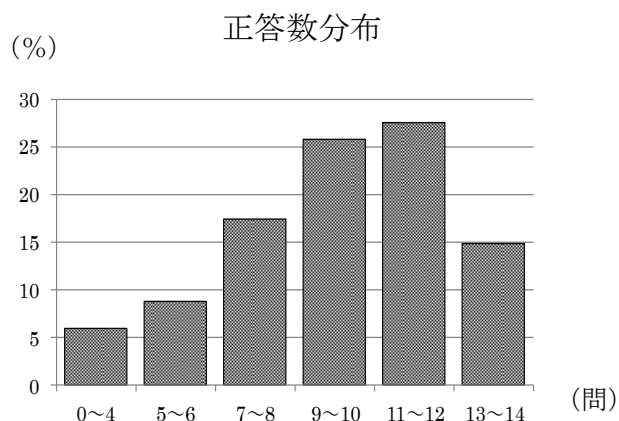
平成27年度 全国学力・学習状況調査結果について（小学校）

国語 「読むこと」「書くこと」に課題がある。

国語A（知識）

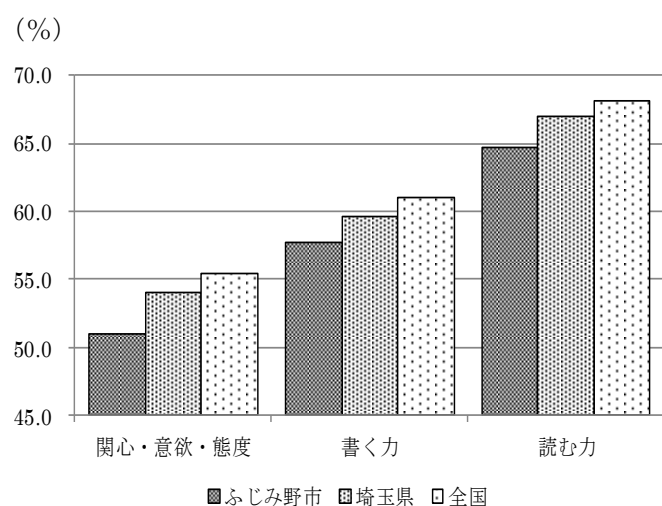


国語A 平均正答率(%)		
ふじみ野市	埼玉県	全国
68.0	68.7	70.0

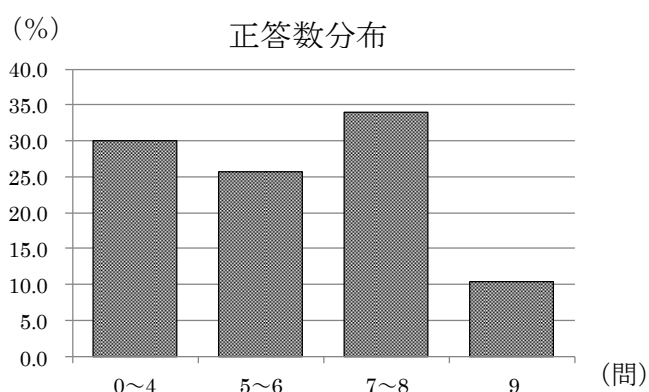


国語Aは、「話すこと・聞くこと」の領域が、県及び全国の平均値を上回っています。その他の領域では、県及び全国の平均値を少し下回りました。表現の工夫を捉えて「読む力」に課題が見られますので、日常生活の中で読書に親しむ時間を設けたり、主語と述語の働きや文の構成を考えながら読むことができるよう指導の充実を図ってまいります。

国語B（活用）



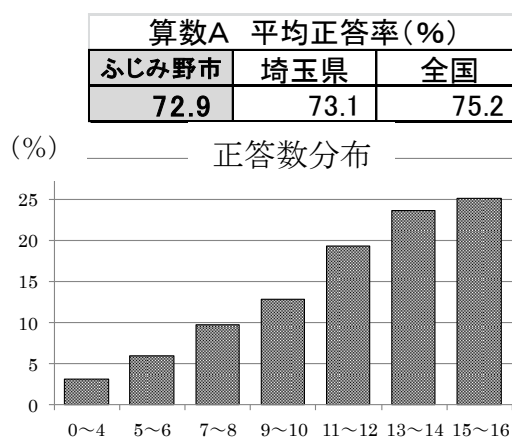
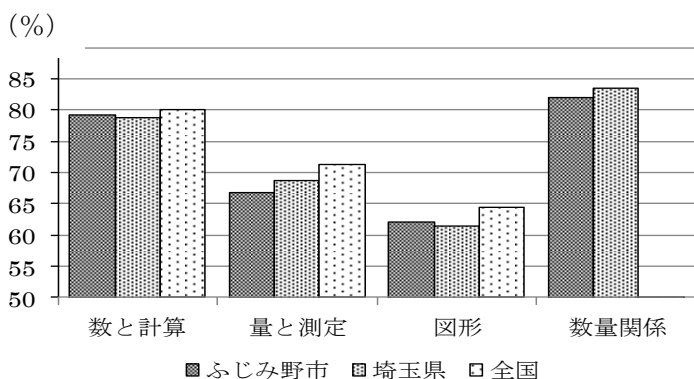
国語B 平均正答率(%)		
ふじみ野市	埼玉県	全国
62.3	64.2	65.4



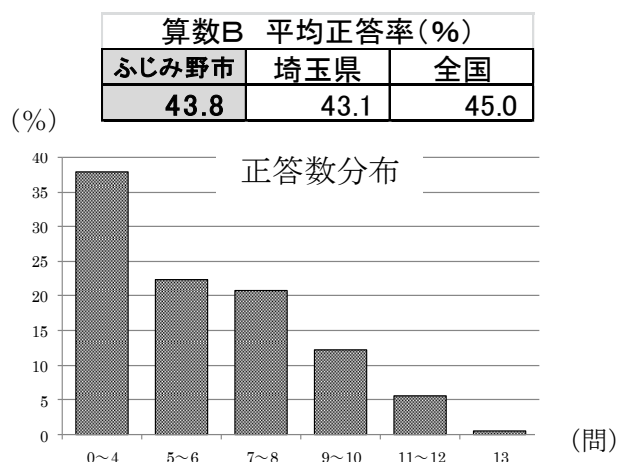
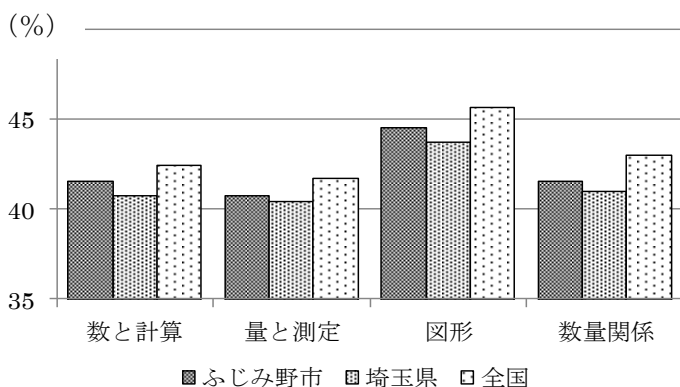
国語Bは、各領域で県及び全国の平均値を下回りました。特に、目的に応じて内容を整理しながら書くことに課題が見られました。作文指導を基にして、伝えたいことの内容を明確にし、大事な事柄を選びながら書くことができるよう指導の充実を図ってまいります。

算数 活用力の向上が課題である。

算数A (知識)

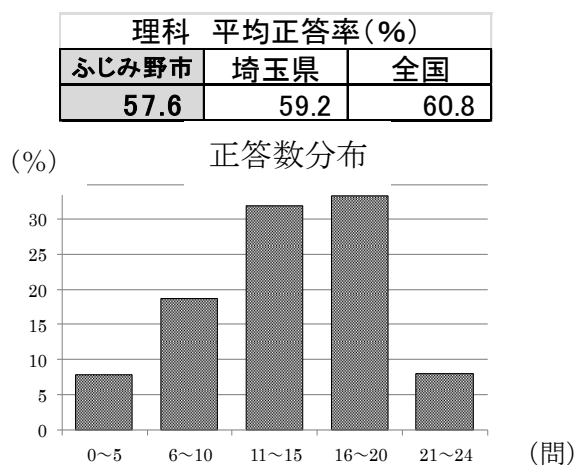
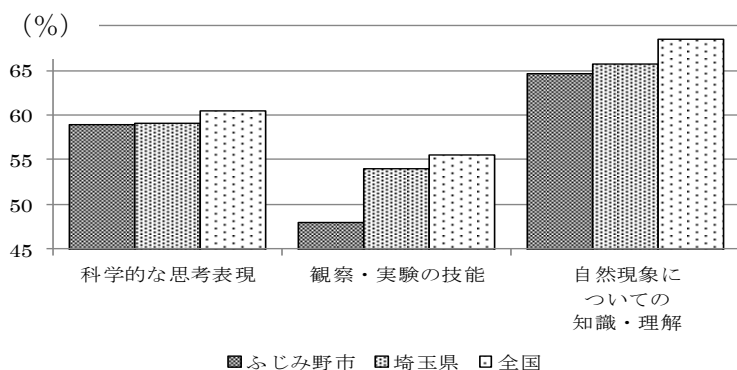


算数B (活用)



算数Aは、「図形」の領域、算数Bは、すべての領域で県平均を上回りました。単位量あたりの大きさを求めて計算する問題や見積りを基にして判断する問題では、全国平均も上回っています。児童の全体的な活用力を高めていくことに課題が見られます。子どもたちが学んだ知識・技能を活用できる授業を推進してまいります。

理科 「観察・実験の技能」が課題である。



実験器具の名称を覚えたり、操作方法を考えたりする問題に課題が見られました。従いまして、子どもたちが、正しい知識・技能を身に付け、観察・実験の際に活用できるように指導してまいります。